

札幌市しせいかん保育園

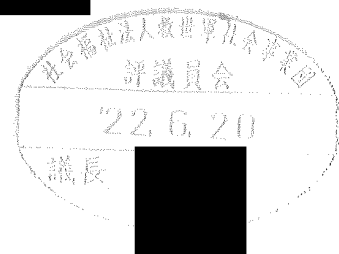
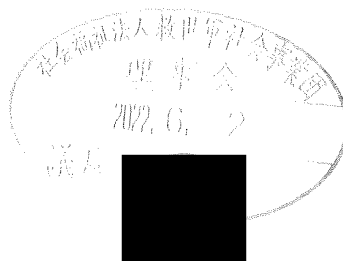
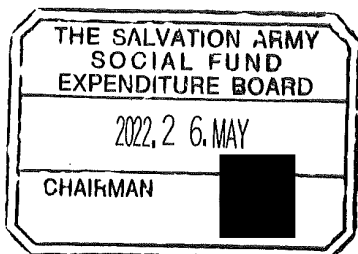
令和3年度 事業報告書

法人名 社会福祉法人 救世軍社会事業団

法人代表者 石川 一由紀

施設名 札幌市しせいかん保育園

施設代表者 施設長 安達津恵



<目次>

1. 救世軍社会福祉事業の理念	-----1
2. しせいかん保育園の理念	-----1
3. 施設概要	-----1
4. 法人理事・監事・評議委員	-----2
5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色	-----3～4
6. 聖書の学び・三園連絡会議	-----5～8
7. 入所児童数	-----8
園児動向	
時間外保育・一時保育利用数	
8. 職員に関する実績	-----9～12
職務分担・職員名簿	
職員の資質向上・職員研修	
法人三園合同行事・福利厚生	
9. 保育課程	-----13～15
保育の内容	
各年齢のまとめ	
10. 年間行事報告	-----16～17
11. 食育実践	-----17
12. 施設設備に関する実績	-----18
施設設備	
13. 保健計画実績	-----18～20
健康管理・事故及び負傷	
新型コロナウイルス感染状況	
14. 防災計画実績	-----20～21
15. 要望・苦情に対する対応	-----21
16. 保護者に関する実績	-----22～23
父母の会・懇談会・親子観劇	
保育アンケート結果	
17. 施設間と地域との交流実績	-----23

1. 救世軍社会福祉事業の理念

救世軍社会福祉事業は、キリスト教の精神と、救世軍の主義に従い、すべての人の全人的な存在の価値を尊び、キリストが一人ひとりを愛されたことを模範とし、キリストに仕えるように、個人個人に仕えることをその事業の基盤とする。

2. しせいかん保育園の理念

救世軍の主義および精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が、心も身体も健全に成長するために、地域とともに歩む共同体

3. 施設概要

種別名称	札幌市都心部子ども関連複合施設 札幌市しせいかん保育園
所在地	札幌市中央区南3条西7丁目1-1
電話 FAX	電話 011(204)9560 FAX 011(204)9570
設置主体	札幌市
経営主体	社会福祉法人 救世軍社会事業団
法人代表者	理事長 石川 一由紀
園長	安達 津恵子
建物構造	鉄筋コンクリート造り 5階建 (保育園部分 1階一部 2階一部)
建物面積	保育園部分 1,015.15㎡
事業開始	平成16年4月1日
定員	120名(通常保育80名 夜間保育40名)
保育実施事業	産休明け保育、障がい児保育、延長保育、夜間保育、一時保育
保育年齢	0歳(産休明け)～就学前
保育時間	昼型 標準時間:7～18時 延長:18～19時 短時間 :8時～16時 夜型 標準時間:10～21時 延長:8～10時、21～22時 短時間 :13時～21時
休園日	日曜日、祝祭日、年末年始(12/29～1/3)

4. 法人理事・監事・評議委員

理事・監事

氏名	役職名
石川一由紀	理事長
スティーブン・モーリス	理事
高澤眞智子	理事
細貝順子	理事
久富直樹	理事
石出道雄	理事
伊吹正典	理事
繁田勝男	監事
内田肇	監事

評議員

氏名	役職名
西村保	評議員
寺澤勇	評議員
梅田久恵	評議員
秋山智久	評議員
石川和男	評議員
堀千鶴子	評議員
黒澤百合子	評議員
島田裕司	評議員
網島実	評議員

令和4年4月1日現在

5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色

<保育の方針>

平成16年、札幌市による都心部4小学校の統合に伴い設置された新設校である”資生館小学校”を中心とした複合施設(資生館小学校、子育て支援総合センター、ミニ児童会館、しせいかん保育園)の保育園部分として設立される。

0歳から12歳までの子どもたちが同じ建物に居るという利点を活かし、保護者や保育および教育に関わる大人たちが子育ての見通しを持つことができるような施設である。

保育園としては、各施設との交流を通して相互の理解を深め、子どもたちが多くの大人たちに見守られながら成長していける場となるよう努力していく。

また、一人ひとりの保護者の状況を把握し、それぞれの親子関係や家庭生活等に配慮していく。日々の保育の中では、全面に土の入った園庭で水や泥で遊ぶとともに、散歩や戸外での活動を通し、自然とのかかわりを増やしていく中で心と体の成長を促していく。

子どもたちの自我を育て、他者との関係をしっかりとむすんでいけるよう育てていきたい。

<保育目標>

1. 心身ともに元気な子ども

- ・ 規則正しい生活を身につけ、自ら安全を守り危険を予測する能力を身につける。
- ・ くつろいだ雰囲気でもの様々な欲求を満たし、情緒の安定した中で意欲的に遊ぶ。
- ・ 全身を使った遊びや運動を通して体力を養う。

2. 自分の思いを表現し、相手の気持ちを思いやる子ども

- ・ 積極的に遊びや生活をする中で、善悪の判断や人とのかかわりあいを学ぶ。

3. 自分のことは自分でする子ども

- ・ 基本的な生活習慣を身につける。

<保育園の特色>

平成16年に札幌都心部にあった小学校統合にともない、資生館小学校を基幹とした子ども関連複合施設の設立がなされ、ここに保育園部門として夜間保育を含む乳幼児120名定員で開園する。

前身は豊水保育所であったが、指定管理者の指定を受け保育業務を行っている。

入園児は地域に住む子どもばかりでなく、勤務先が園の近くにあるということで、地下鉄・電車等で遠方から通園してくる子どももいる。

保護者の勤務時間が年々長くなり、延長保育を利用する家庭が増えている。

夜間保育は、美容師・デパート・飲食店などのサービス業の家庭の利用が多く、22時終了までの保育の子どもに疲れが見られる。

園の周りは繁華街で、子どもの遊びに適した場所が少ない。そのような中でも、日々の散歩や交通機関を利用して自然の中で遊ぶことを工夫している。

子ども関連複合施設の利点として、乳幼児期から小学校期までの子育ての見通しをもつことができる。

年間を通して、小学校・子育て支援総合センター・ミニ児童会館・保育園の交流が行われている。異年齢の交流、特に年長児は小学生との交流の積み重ねによって、次への見通しを持つことができ、良い経験となっている。

保護者にとっても、多彩な年齢の子どもの活動を目にすることで、年齢ごとの子どもの育ちを実感できている。

保育士も子どもたちと一緒に交流に参加することで、日常と違う角度から子どもたちを見ることができ、そのことが保育に活かされるようになってきた。また、教員や指導員と話し合うことで、子どもの育ちの学びが広がったり、保護者へのアドバイスにも参考になっている。

6. 聖書の学び・三園連絡会議

<聖書の学び>

■毎週火曜日に4歳児クラスと5歳児クラスが聖書と賛美の学び

■毎月第3木曜日に職員が聖書と賛美の学び

月	賛 美 (上段：こども 下段：職員)	聖書のことば (上段：こども 下段：職員)
4月	きれいなせかいありがとう	「わたしは良い羊飼いである」 (ヨハネによる福音書 10 章 14 節)
	きれいなせかいありがとう	「わたしは良い羊飼いである」 (ヨハネによる福音書 10 章 14 節)
5月	きれいなせかいありがとう	「安心して行きなさい」 (マルコによる福音書 5 章 34 節)
	きれいなせかいありがとう	「安心して行きなさい」 (マルコによる福音書 5 章 34 節)
6月	そらのとりは	「野原の花がどのように育つかを考えてみなさい」 (ルカによる福音書 12 章 27 節)
	そらのとりは	「野原の花がどのように育つかを考えてみなさい」 (ルカによる福音書 12 章 22 節～34 節)
7月	そらのとりは	「勇気を出しなさい」 (ヨハネによる福音 16 章 33 節)
	そらのとりは	「勇気を出しなさい」 (ヨハネによる福音 16 章 33 節)
8月	主イエスとともに	「憐れみ深い人は幸いである。 その人たちは憐れみを受ける」 (マタイによる福音書 5 章 7 節)
	主イエスとともに	「憐れみ深い人は幸いである。 その人たちは憐れみを受ける」 (マタイによる福音書 5 章 7 節)
9月	主イエスとともに	「わたしがあなた方を愛したように、 あなたがたも互いに愛し合いなさい」 (ヨハネによる福音書 13 章 34 節)
	主イエスとともに	「わたしがあなた方を愛したように、 あなたがたも互いに愛し合いなさい」 (ヨハネによる福音書 13 章 34 節)

10月	かみさまにかんしゃ	「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」 (ルカによる福音書 10 章 20 節)
	かみさまにかんしゃ	「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」 (ルカによる福音書 10 章 20 節)
11月	かみさまにかんしゃ	「わたしの恵はあなたにじゅうぶんである。」 (コリントの信徒への手紙 2 12 章 9 節)
	かみさまにかんしゃ	「わたしの恵はあなたにじゅうぶんである。」 (コリントの信徒への手紙 2 12 章 9 節)
12月	おほしがひかる	「おめでとう、めぐまれた方」 (ルカによる福音書 1 章 26 節)
	おほしがひかる	「おめでとう、めぐまれた方」 (ルカによる福音書 1 章 26 節)
1月	ハレルヤさんびせよ	「子よ、元気を出しなさい」 (マタイによる福音書 9 章 2 節)
	ハレルヤさんびせよ	「子よ、元気を出しなさい」 (マタイによる福音書 9 章 2 節)
2月	ひとりのちいさなて	「その家に入ったら『平和があるように』と挨拶しなさい。」 (マタイによる福音書 10 章 12 節)
	ひとりのちいさなて	「その家に入ったら『平和があるように』と挨拶しなさい。」 (マタイによる福音書 10 章 12 節)
3月	ひとりのちいさなて	「わたしは世の終わりまで、いつもあなたと共にいる。」 (マタイによる福音書 28 章 20 節)
	ひとりのちいさなて	「わたしは世の終わりまで、いつもあなたと共にいる。」 (マタイによる福音書 28 章 20 節)

※新型コロナウイルス感染症防止の為

5月・6月・7月・8月・9月・1月・2月・3月 7月子ども礼拝(お集まり)が中止となりました。

職員会議も同様にこの月は、日中に時間短縮をして職員会議をおこないました。

会議の前には御言葉を配布し、聖歌・聖句の確認をしてから始めました。

<三園連絡会議>

月日	賛美と聖書	議題
4月12日	讃美歌 いつくしみ深き 聖書 コリントの信徒への手紙 12章 26節～27節	<ul style="list-style-type: none"> ・三園の近況報告 ・コロナ感染予防関連 年間行事・園外保育・お泊り会・クラス懇談会等の 取り組み方 ・子ども礼拝の曜日時間の確認 ・法人研修と実情の確認 ・保育運営の学習の必要性
7月19日	賛美歌 (コロナ感染防止のため無し) 聖書 コリントの信徒への手紙 15章 58節	<ul style="list-style-type: none"> ・三園の状況報告 ・コロナ感染状況 ・園行事・園外保育と取り組み方 ・打刻問題(三園一緒に取り組めるように業者の説明 を聞いて検討していく)
10月21日	賛美歌 (コロナ感染防止のため無し) 聖書 マタイによる福音書 24章 44節	<ul style="list-style-type: none"> ・三園の状況報告 ・人事院勧告(ボーナス0.15月引き下げ) 確定ではないが、準備をしておく ・新人研修 来月の特別礼拝に参加…新人研修とする ・■■■■社会部長による三園監査 11/5(金) 桑園 11/6(土) しせいかん午後～三園連絡会 11/8(月) 菊水上町 11/7(日) 特別礼拝 ・ホームページ作成を進めて行く ・今後の課題 人材確保 認定こども園への移行
11月6日	賛美歌 主よわれとともに 聖書 ルカによる福音 24章 13節～35節 社会福祉部長来札	<ul style="list-style-type: none"> ・三園の状況報告 人材確保について(各園状況) 懇談会等の取り組みかた報告 ■■■■社会部長からのお話】 ・人材確保をどうしていくのか 合同ホームページ作成(法人相談可) 保育園の今後を見据えて色々な課題に取り組む (将来的なビジョン・ニーズを掘り起こす) ・後継者問題 ・三園で起きたことを三園でどうサポートするのか
2月24日	リモート会議 ■■■■社会部長 札幌チャプレン(■■■■) 三園園長(安達・■■■■)	<ul style="list-style-type: none"> ・各園のコロナ状況と対策の報告 ・卒園式の取り組みの確認(短縮) ・処遇改善特例手当について …就業規則・給与規程の 改正対応を三園で共有していく。
3月16日	リモート会議 ■■■■社会部長 ■■■■事務局 札幌チャプレン(■■■■) 三園園長(安達・■■■■)	<ul style="list-style-type: none"> ・各園のコロナ状況 ・事務員の賃金について ・就業規則・深夜労働について ・どの様に賃金を支払うのか ・各園のお泊り会の時の勤務体制(状況)を作る。 ・6月の理事会に間に合うよう改めて 検討して作成していく。

コロナ状況の中、三園連絡会を持たない月もありましたが、その間電話・メール等のやり取りで情報交換をしてきました。年間を通して議題に上げてきたのは、人材確保問題です。

2月・3月は社会部長とのリモート会議を通し、各園のコロナ状況報告や人材確保問題などを話すことが出来

ましたが、今後もこの課題については引き続き三園の問題として共有し取り組んでいきたいと思ひます。また、リモートを通して会議も多く取り入れていきたいと思ひます。

7. 入所児童数<園児動向>

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	9	14	19	22	21	21	106
5月	9	14	19	22	21	21	106
6月	10	16	20	22	21	21	110
7月	10	16	20	22	21	21	110
8月	10	17	20	22	21	21	111
9月	11	17	20	22	21	21	112
10月	11	17	20	22	20	21	112
11月	12	18	20	22	21	21	114
12月	12	18	19	22	21	21	113
1月	12	18	20	22	21	21	114
2月	12	17	20	22	21	21	113
3月	12	17	20	22	21	21	113
計	130	199	237	264	252	252	1,334

<時間外保育・一時保育利用数>

月	昼型時間外	夜型時間外	時間外合計	一時保育
4月	215	29	244	0
5月	174	41	215	0
6月	208	45	253	0
7月	196	44	240	0
8月	196	45	241	0
9月	181	55	236	0
10月	242	52	294	0
11月	279	58	337	0
12月	377	50	427	0
1月	123	21	144	0
2月	181	40	221	0
3月	332	55	387	0
計	2,704	535	3,239	0

<職員資質向上・職員研修>

(1)園外研修報告

日付	研修名	主催	参加者
5/10	保育園・子ども園における保育保健	私保連	
5/25	3歳未満児の保育の重要性と子どもの育ちを支える保育実践について	私保連	
6/9	足育～子どもの足と靴～	私保連	
6/21	折れない心を育てるレジリエンス		
6/22	全国リーダー研修	救世軍	
6/28	ニューノーマル時代に選ばれる組織づくりとは	私保連	
7/13～14	全国中堅職員研修会	救世軍	
8/20	保護者支援『相談や困り感の内容から考える』	私保連	
8/23	子どもの「声」を聴き取り子どもとつくる保育	合研	
8/25	コロナ禍の保育 大人同士の関係	合研	
8/26	子どもの幸せのために今、私たちができること	合研	
8/26～27	子どもたち大人たち元気に暮らしていますか	合研	
8/27	気になる子が変わるとき	合研	
8/30	保育を尊重し つながりをはぐくむ保育とは	合研	
8/31	気になる子が変わるとき	合研	
8/31	夢中になって遊びこむ	合研	
9/1	保育士のための保護者支援 part2	私保連	
9/29	今、気になる子どもの育ち、学びをどのように保障するか	区幼保小連携 推進協議会	
10/8	子どもたちの生活を支える心理支援について考える	私保連	
11/7	新人研修	救世軍	
11/13	全国中堅職員フォローアップ研修	救世軍	
11/17	小学校との接続について	私保連	
12/1	主体性を育む保育の役割	私保連	
12/6	主体性を育む保育の役割	私保連	
12/21	秋の自然を保育に活かそう	私保連	

キャリアアップ研修（北海道保育協議会）		
	乳児保育	[Redacted]
	幼児保育	
	障がい児保育	
	食育・アレルギー	
	保健衛生・安全対策	
	保護者支援・子育て支援	

(2) 園内研修報告

日付	内容	日付	内容
4月	コロナ感染予防の為、実施なし	10/18	保育実践の確認
5月	コロナ感染予防の為、実施なし	11/11	保育実践の確認
6/10	プールあそびについて	12/16	食育について
7/8	夏の感染症について AEDによる救急法について	1/11	各クラス保育の振り返り
8/3	リズム運動(実践)	2月	コロナ感染予防のため実施なし
9月	運動会準備	3月	卒園式準備

(3) 職員会議等実績

月	職員会議	学習会	三園連絡会	期の総括	指導監査	法人監査	備考
4月	15日		12日				
5月	20日						
6月	17日	10日	24日				
7月	15日	8日	19日	17日		10日	[Redacted] 財務部長
8月	19日	3日					
9月	16日						
10月	14日	18日	21日				
11月	14日	11日	6日			6日	[Redacted] 人事部長 [Redacted] 理事
12月	17日	16日		4日			
1月	なし	11日					
2月	17日						
3月	14日		16日	26日			札幌市監査 書類送付 次年度4月に電話監査 (コロナ感染症対策)

<法人三園合同行事>

新型コロナウイルス感染症対策の為、中止(研修会・クリスマス会) 新人研修 11/7

<福利厚生>

- ・ 職員健康診断
- ・ インフルエンザ予防接種補助
- ・ 被服費支給
- ・ 不織布マスク配布

9. 保育課程 < 保育の内容 >

教育及び保育の内容に関する全体的な計画

事業の目的	乳幼児が心身ともに健やかに育つよう看護と教育が一体化した保育を行うことを目的とする。								
保育理念	救世軍の主義及び精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が心も身体も健全に成長するために地域と共に歩む共同体を目指す。		保育目標 (画)	<ul style="list-style-type: none"> 心身ともに元気な子ども 自分の思いを表現し相手の気持ち思いやる子ども 自分のことは自分でする子ども 					
保育方針	乳幼児期は人間形成において基礎となるきわめて重要な時期です。家庭との連携を大切にして元気で明るい子に育てていく。		保育時間	昼型	7:00-18:00 (-19:00時間外)				
				夜型	(8:00-時間外) 10:00-21:00 (-22:00時間外)				
			主な行事	園外保育、誕生会、クラス懇談会、夏祭り、お泊り会、運動会、クリスマス会、異物狩り、味覚祭、餅つき、節分、卒園式					
保育の目標	<p>◎子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う</p> <p>ア. 生命の保持及び情緒の安定を図る</p> <p>イ. 心身の健康の基礎を培う</p> <p>ウ. 人に対する愛情と信頼感、人格を大切にする心を育てるとともに自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う</p> <p>エ. 生命、自然及び社会への興味・関心を育て、豊かな心や思考力の芽生えを培う</p> <p>オ. 言葉の興味や関心の心を育て、言葉の豊かさを養う</p> <p>カ. 豊かな感情や表現力を育み、創造性の芽生えを培う</p>			◎入所する子の保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を活かしてその援助に当たる					
子どもの保育目標	0歳児	生活リズムを整え、快・不快の感覚を育てる。	1歳児	安心できる保育士との関係の中で自分の思いを出す。	2歳児	自我の拡大から充実に向かう中で、自分や友達との存在がわかる。			
	3歳児	生活習慣が身につく、友達と遊ぶ楽しさが広がる。	4歳児	仲間や保育士と遊ぶことが楽しくなり、簡単なルールを守って遊ぶことができるようになる。	5歳児	生活や遊びの中で意欲的に仲間と共通の課題に向かい、達成感を喜び合う。			
保育所保育に関する基本原則/役割	児童福祉法に基づき保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図る。保育に関する専門性を有する職員が家庭との連携の下に養護及び教育を一体的に行う。保護者支援及び地域子育て支援を行う。		養護に関する基本的事項	養護とは子どもの生命保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わりである。養護及び教育を一体的に行う保育を通じて養護に関するねらい及び内容をふまえた保育を展開する。					
保育の方法/環境	健康・安全な環境を整え、一人ひとりの発達過程に応じて乳幼児期にふさわしい体験が得られるよう、生活やあそびを通して総合的に保育をする。子どもの生活が豊かなものとなるよう環境を構成し、工夫して保育を行う。		保育の計画と評価	保育の目標達成のため、方針や目標に基づき子どもの発達過程をふまえた保育内容が構成され、総合的に展開されるよう全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画等を作成する。保育士等の自己評価、保育所の自己評価を行い改善を図る。評価結果の公表に努める。					
保育所の社会的責任	人権に配慮するとともに子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を行う。地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に保育内容を適切に説明する。個人情報等を適切に取り扱う。保護者の苦情などを解決するよう努める。		幼児教育としての責務	生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標をふまえて「資質・能力の3本の柱」を一体的に育むよう努める。「幼児期に育ってほしい姿」は、そこに向かう姿として保育士等が指導を行う際に考慮する。					
養護	乳児		1歳児 (満1歳より)	2歳児	3歳児	4歳児			
	生理的欲求の充実を図る	生命の保持	一人ひとりの健康状態を把握し快適に過ごせるようにする	適度な休息をとりながら伸び伸びと活動する	基本的な生活習慣を身につけられるよう援助する	日常生活に必要な習慣や態度を身につける	健康や安全に関わる生活習慣や態度を身につける		
教育	応答的なふれあい、言葉がけで安心感をもたせる		情緒の安定	健康	人間関係	環境	言葉	表現	
	健康	人間関係	環境	言葉	表現	健康	人間関係	環境	言葉
幼児期の終わりにまで育ててほしい10項目	ア. 健康な心と体 イ. 自立心 ウ. 協同性 エ. 道徳性・規範意識の芽生え オ. 社会生活との関わり カ. 思考力の芽生え キ. 自然との関わり・生命尊重 ク. 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 ク. 言葉による伝え合い コ. 豊かな感性と表現		教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱	ア. 「知識及び技能の基礎」豊かな経験を通じて、感じたり、気づいたり分かったり、できるようになったりするイ. 「思考力・判断力・表現力等の基礎」気づいたことや、できるようになったことを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするウ. 「学びに向かう力・人間性等」心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする					
健康支援/状態把握/増進・疾病対応	・登園時及び保育中の状態把握 ・内科健診 (乳児は隔月、幼児は年2回) ・疾病への適切な対応 ・年間保健指導計画 (別紙参照)		小中学校との連携	・幼児期にふさわしい生活を通じて、小学校以降の生活や学習の基盤となる資質・能力を育む。 ・小学校教師との意見交換や合同研究の機会を設け、円滑な接続を図り、保育所保育要録を小学校に送付する。					
食育の増進	・食育活動の実施 (クッキング、野菜づくり、行事食など) ・食物アレルギー等、配慮が必要な子への対応 ・食育計画 (別紙参照)		子育て支援	・クラス懇談会、個別面談 ・保育参観 ・子どもに発達上の課題がある場合、関係機関と連携する ・子育て支援総合センターとの交流					
環境及び衛生管理並びに安全管理	・施設内外の設備及び用具等の衛生管理、点検 ・安全対策のための職員の共通理解や体制作りを図る ・交通安全教室 (年2回) ・安全マニュアル (別紙参照)		職員の資質向上	・質の高い保育を展開するため、一人ひとりの職員の専門性の向上を図る ・園内学習会の充実 ・園外研修への参加					
災害への備え	・避難訓練 (火災、地震、不審者対応) 毎月 ・緊急時の対応 ・地域の関係機関との連携								

<各年齢のまとめ>

0歳児 ペんぎん組

年間目標 ・安心できる環境でたくさん気持ちを受け止められながら愛着関係を築いていく。

担任間で連携をとりながら子どもの思いに寄り添い丁寧に関わることで、愛着関係を築くことができたと思われる。個々を把握し、体づくりを意識した環境づくりを計画したが保育士の取り組みが弱かった。子どもの意欲的な活動を保障できるよう心がけてきたが、十分でなかった。保護者の思いに寄り添う大変さを感じた。

1歳児 うさぎ組

年間目標 ・身近な保育士に、自分の思いを十分に出し受けとめてもらう。

- ・保育士と身の回りのことを一緒にする中で、やりたいという気持ちが芽生える。
- ・探索活動などをする中で自然にふれ、様々なことに興味関心を持つ。

保育士との関係が安定すると意欲的にあそぶようになっていった。着脱や食事の準備などが自分でもできるようになり、やりたい子持ちが膨らんできた。園庭で泥・水あそびを楽しんできた。友達と一緒にあそぶことも増えてきた。コロナ感染予防のため個人懇談をして、保育園生活を伝えてきた。

2歳児 きりん組

年間目標 ・保育士と身の回りのことをやりながら、自信をつけていく。

- ・全身を使ってあそぶ。
- ・自分の思いを言葉で表現する喜びを味わう。

室内・室外とも全身を使って遊んできた。友だちと一緒に積み木で一つのものを作り楽しみ、おうちごっこなどの『〇〇ごっこあそび』をよくするようになってきたとともにケンカも多くみられるようになった。保護者には送迎時の声掛けや個人懇談で子どものことを伝えてきた。

3歳児 ひつじ組

年間目標 ・体を動かして、友だちと楽しい経験を重ねていく。

- ・自分の思いを言葉で使って主張しながら相手の気持ちにも気づいていく。
- ・繰り返しの生活で見通しを持って生活する。

コロナ禍のため、散歩に行くことがほとんどできなかったが、園庭や小学校のグラウンドで体を動かしてあそぶことができた。着脱や食事の準備・片付けなどはそれぞれに自分でやり切れるようになってきている。友達との関わりで力加減が上手いかず揉めてしまうことがよく見られていた。保護者への働きかけは十分ではなかった。

4歳児 あひる組

- 年間目標**
- ・ 基本的な生活習慣が身につく意欲的に過ごそうとする。
 - ・ 身近な自然の中で十分に体を動かし発見や興味を深めていく。
 - ・ あそびを通して友達とあそぶことの楽しさを味わう。

着脱や食事の準備・片づけは出来るが取りかかるまでの差が大きかった。見守るように心がけたが声掛けや一緒にやることが必要な子もいた。

コロナ禍で園外保育が出来なかったが、園庭や小学校グラウンドを利用して体を動かしてあそぶことができた。友達とのケンカが多く見られたが見守ったり、時として仲立ちをしてきた。保護者には送迎時の声掛けをするように努めてきた。

5歳児 かもしか組

- 年間目標**
- ・ 生活習慣を身につけ見通しを持ちながら自分たちの生活を作る。
 - ・ 仲間の支えの中で新しいことに挑戦する意欲と最後までやろうとする力を持つ。
 - ・ 体をしっかりと使い、あそんだり生活をしていく。

生活や遊びの中で仲間と共に考え協力し合って活動する喜びを経験する。

コロナ感染予防のため、十分な活動が出来なかった。そのなかで、数は少なかったが園外保育や合宿は子どもたちには良い経験となった。

基本的な生活はそれぞれにできていたが、集中して終わることが難しい子が多かった。

状況を見ながら適切と思われる対応をしてきた。クラス懇談会が開けなかったことが残念ではあったが、個人懇談や送迎時の声掛け、クラスだよりを用いて子どもの様子を伝えてきた。

夜間

- 年間目標**
- ・ 家庭的な雰囲気の中で安心して過ごしていく。
 - ・ 異年齢の子と関わる中で優しさの心を持っていく。

利用数が1～2名、多い日でも3～4名だった。利用児の年齢がバラバラなため、あそびもそれぞれになっていた。迎え時間は1名が21時～22時だったが、他児は比較的早い降園だった。全員夜間利用継続だったため、保育は落ち着いていた。

10. 年間行事報告

月日	行事	内容・感想
7月6日	父母の会総会	コロナウイルス感染予防のため中止
7月21日	夏まつり（全園児）	密にならない工夫で盆踊りとお店ごっこをした。年長児のお店屋さんに小さい子がチケットで買い物をした。
7月30日	海あそび	貝や魚、わかめなどに触れ浅瀬で泳ぎ、広い海を全身で感じながら楽しんだ。
8月6日	七夕（3・4・5歳児）	ペープサートで七夕の由来を知る。年長児作成の天の川とみんなの願いを吊るした。 笹の下でおやつのそうめんを食べた。
10月2日	運動会	コロナ感染予防のため0.1歳児は不参加とし、2,3歳児、4,5歳児二部制とし、4,5歳児オープニングに保育士の太鼓を披露した。
10月12日	滝野の森探索（5歳児）	バッタや蛙、とんぼなどの生き物や落ち葉木の実を拾って自然に触れた。
10月13日	味覚祭（全園児）	秋の味覚を味わう。目の前で果物の皮をくと興味をもって見むていた。
10月14日	円山登山（4歳児）	リスに遭遇できなかったが頂上から見える景色に驚いていた。
10月28日	合宿	遠出の散歩や乗馬で楽しみ、保育園に1泊した。友達と寝食を共にして仲間意識が、深まった。
10月22日	円山登山（3歳児）	登山のあとに山登りごっこをしたり登山の話をよくしていた
10月25日	円山登山（5歳児）	綺麗な紅葉を見ながら登り、秋を感じることができた。
11月30日	観劇（こぶし座）	各地の伝統の踊りや歌を観た。手拍子をしたり、体を動かして楽しんでいた。
12月22日	クリスマス会（3～5歳児）	5歳児が手作りのキャンドルを手に入場しクリスマスを祝う。

1月13日	もちつき	5歳児が餅をつき、3～5歳児の午後おやつとして食べた。
2月3日	豆まき（全クラス）	保育士がひなまつりの寸劇を子どもたちに観せる。
3月3日	ひなまつり（3～5歳児）	保育士が鬼になり、各保育室のガラス越しに姿を見せた。
	お茶会（5歳児）	日本文化を体験して干菓子と抹茶をいただく。
3月19日	卒園式（5歳児）	コロナ感染感染予防に努め、卒園児とその保護者、職員で卒園を祝った。卒園児は緊張しながらも誇らしげに卒園証書を受けとった。2部のリズムは短時間だったが子どもたちは楽しんでやっていた。

1 1. 食育実践

日付	クラス	目的	感想
R3 年4月27日	5歳児	春の味覚を楽しむ	子どもたちが摘んできたヨモギをその日のうちに食べた。普段、野菜を苦手とする子たちも、おかわりをしていた。
メニュー		レシピ	
ヨモギ天ぷら		ヨモギに天ぷら粉をつけて油で揚げ、塩をつける。	

日付	クラス	目的	感想
R3年8月3日	4歳児	収穫したラディッシュを食べる。	種をまいたあと、育ってくるのを楽しみにしてきた。土から実が見えてきた頃、話し合って甘酢漬けにした。「辛い」「苦い」といいながら、よろこんで食べた。
メニュー		レシピ	
ラディッシュ甘酢づけ		ラディッシュをよく洗い、甘酢につける。	

<総評>

- ・コロナ感染予防のためクッキングは保育士が行った。子どもたちは、見るだけだったが、料理をよろこんでいた。
- ・畑づくりやクッキングを通して、食べることへの興味をもち、みんなで一緒に食べることを楽しんでいった。
- ・コロナ感染予防のため、一方向、間隔をあけて食べるようにしてきた。
現状では、感染予防が優先のため、会話をしながら食事を楽しむことができなかった。

1 2. 施設設備に関する実績

<施設設備>

- ・ 1階保育室引き戸車取替(4月)
- ・ 0歳児ガラス戸取替(4月)
- ・ 沐浴室引戸取替(7月)
- ・ 全室床ワックスがけ(3月)

1 3. 保健計画実績

<健康管理>

園医

: [REDACTED]

園児検診 11月10日

乳児検診 11月10日

新型コロナウイルス市内感染拡大中の為、1回のみ実施

[REDACTED]

歯科検診 10月15日

<事故及び負傷>

4月3日(1歳児)

プラスチック箱型のカゴを持ち歩いていてつまずきヒザをついた時に、カゴがぶつかり顎の皮がむけ少量の出血と上歯茎からも少量の出血があった。皮膚科を受診し塗り薬を処方された。次の日は私用で欠席、翌々日に登園した際には、傷は治りかけていた。

4月8日(4歳児)

遊んでいたコマを追いかけようとした際に、柵に右踵をぶつけ出血する。整形外科を受診し塗り薬を処方された。傷は10日ほどで良くなった。

5月14日(2歳児)

園庭あそびの時に立ち上がった際、右腕が痛いと言出し泣き出した。整形外科を受診したところ肘内障と診断され、処置してもらった。帰園後は元気に過ごす。

5月27日(4歳児)

積み木あそびの時、腕を振りあげた際に後ろの柵に左腕をぶつけ痛かったので整形外科を受診する。肘内障と診断され処置をしてもらった。翌日は使用で欠席し翌々日に登園した際は、痛がることもなく平常通り遊んでいた。

6月3日（4歳児）

園庭で転んだ後、左足首あたりが痛いというが腫れがみられず歩くことはできていたので様子を見た。夕方、引きずるように歩いていて、少し腫れているように見えたため、整形外科を受診し、軽い捻挫と診断される。自然治癒するので、テーピングや湿布薬の処方はなかった。6月7日には、いつも通りに動いていた。

7月7日（1歳児）

本児が引っ張った水飲み用のポットが上唇にぶつかり、歯茎から少し出血する。

歯科医を受診する。歯には異状なく切れたところを消毒してもらう。

翌日には、腫れが引いて痛がる様子はなかった。1週間ほどで唇の腫れがすっかり治った。

8月3日（3歳児）

6名の子どもがプールで遊んでいる時に、2名の子がぶつかる。A児は左目上を、B児はあごが切れたので、形成外科を受診し、A児は4針、B児は3針縫合した。

抜糸は、8月10日でその後順調に回復していった。10月13日受診で完治となった。

9月22日（5歳児）

『手つなぎ鬼』をして遊んでいる時に他児が後ろから本児の腕にぶつかり左ひじに傷みが出る。冷やして様子を見るが午睡あけも痛がるので整形外科を受診する。骨には異状はみられず軽い捻挫と診断される。湿布が処方された。翌日は祝日で2日後の登園時は少し痛みがあったが4日後には痛みが消えた。

10月13日（5歳児）

午睡中、ふざけて保育士のひざに足を乗せていた他児の足が側で横になっていた本児の右目に当たり眼球に内出血見られたため、眼科を受診する。眼底出血がみられるが3～4日で自然治癒と診断される。段々と良くなっていったが、すっかり赤みが消えたのは10月27日だった。

10月27日（5歳児）

他児に後ろから抱きつかれ、前のめりになり柵に左まぶたが1cmほど切れ出血したため皮膚科を受診する。擦り傷と診断され塗り薬を処方される。次の日は痛がることなく5日ほどで治った。

11月1日（4歳児）

おやつ準備の時にふざけて蹴る真似をしていた他児の足が本児の右目に当たって眼球にうっすら赤みがみられた。眼科受診の結果、眼球に傷はないが、菌が入らないよう目薬を処方される。11月4日に赤みがとれた。

11月10日（3歳児）

階段を踏み外して左目の上をぶつけ1.5cmほど切れる。形成外科を受診し、テープで縫合する。17日に再受診し、テープをとる。さらに1ヶ月後、受診する。赤みは今がピークで1年くらいかかり白くなっていく

とのこと。2月に受診予定だったがコロナ感染状況が良くないため、4月以降状況を見て受診予定。

2月3日（5歳児）

追いかけてっこをしていてテーブルにぶつけ、右まぶたに1cmぐらいの傷ができた。

出血はないが少し腫れがみられたので眼科を受診し、視力には問題なく、眼球にも傷はないと診断される。

まぶたの傷に塗り薬を処方された。1週間ほどで治る。

14. 防災計画実績

<自衛消防隊>

防火責任者	園長	
通報・連絡	事務員	防火責任者(園長)に連絡し、119番通報
初期消火	調理員・用務員	消火器を用いて初期消火の任にあたる
避難・誘導	全保育士	
探索・救護	園長 主任保育士・フリー保育士	残留児の確認、救出、誘導、 救急品持出、応急処置(必要時)
保護者への引渡し確認	各組担任保育士	必ず避難場所を確認後、保護者へ引き渡す
非常書類持出	園長 事務員	書類関係 登園表、緊急連絡網

<避難訓練>

日付	訓練内容および反省
4月17日(給食室出火) 避難・消火・誘導	火災についての話を聞く →5歳児はホールでリズム、ほかのクラスは園庭あそびをしていた。館内放送の後、保育士の指示を聞いて避難経路に従い避難した。新入児も混乱することなく避難ができていた。
5月14日(地震) 避難・消火・誘導	ベルの音で避難経路に従い避難を行う(全館避難訓練) →毎月の訓練で「避難」を理解できている子をまねて、新入児もスムーズに行動できていた。アナウンスをしっかりと聞かずに、動き出したクラスがあった。 今後は安全な避難を心がけたい。
6月17日(給食室出火) 避難・消火・誘導	ベルの音で静かに指示を聞く(午前保育中) →3～5歳児クラスがホールで鬼ごっこをしていた。避難のアナウンスが入ると大声を出す子が数名あった。全体に騒がしくなり保育士の指示する声が聞こえない場面がみられた。訓練終了後、子どもたちにアナウンスが流れたときは、静かにして保育士の指示をしっかりと聞くように話した。

7月24日(小学校出火) 避難・消火・誘導	抜き打ち訓練(午睡明け) →昨日、館内で誤作動による警報があり、職員の誘導で避難した。本日の警報を聞いて「また」という思いで年長児が大騒ぎをした。アナウンスをしっかりと聞かずに勘違いして指示以外の避難口に向かったクラスがあった。子どもには訓練の大切さを話し、保育士には指示を確実に聞くよう話す。
8月27日(給食室出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(おやつ時) →大声を出して避難する幼児が数名いたが、やがて静かに避難する。 0歳児を両腕に抱え、避難していたがオンブ紐を使うことも必要と思われる。
9月6日(小学校出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(全館避難訓練) →緊急放送を聞いた瞬間、子どもたちは保育士の側に行こうとしていた。保育士の指示により4・5歳児はグラウンド中央に、他の子どもたちは園庭付近に集まった。学校長の「自分の命を守る」「本番のように」の訓示を園児にも伝えていく。
10月23日(小学校出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(午睡明け) →午睡の起きがけだったが、保育士の誘導でスムーズに避難できた。0歳児はオンブ紐も使い、他クラスの援助も受けて避難した。子どもの人数報告に違いがあった。名簿と照らし合わせて正確な人数を確認する必要がある。
11月12日(給食室出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(おやつ準備中) →0～2歳児クラスは大人が上着を持ち、3～5歳児は上着を持って避難した。全体的にアナウンスを聞いて行動することが身ついてきている。
12月25日(小学校出火) 避難・消火・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(午後室内保育中) →保育士の誘導で避難することができた。幼児クラスは上着を羽織って避難したが、混乱はなかった。
1月24日(小学校出火) 避難・消火・誘導	火災に気が付いた職員が夜間保育中の保育士に知らせる。 →夕食を終えたときに、火災発生を知らされた。あそびを切り上げられない3歳児に手こずったが誘導避難した。
2月18日(給食室出火) 避難・消火・誘導	避難経路に従い避難する(午前保育中) →乳児クラスは昼食に向かう時間帯で、園庭から入ってくる子、着替えている子など動きが色々あったが、保育士の指示で避難ができた。幼児クラスは園庭で遊んでいたが、アナウンスを聞き自主的に保育士のところに来る姿がみられた。
2月19日(地震) 避難・誘導	館内放送を聞いて、避難経路に従い避難する(全館避難訓練) →4、5歳児は保育室にいたので、ジャンパーを着てグラウンドへ出た。着衣に少し時間がかかったが、落ち着いて避難していた。2歳児10名は散歩中だったため、連絡をして注意を促した。
3月26日(小学校出火) 避難・消火・誘導	コロナウイルス感染予防対応のため実施しなかった。

15. 要望・苦情に対する対応

今年度は、ありませんでした。

16. 保護者に関する実績

<父母の会・懇談会・親子観劇>

父母の会	定期総会(コロナ感染予防のため、中止)文書で報告 役員会・・・年8回開催。
懇談会	コロナウイルス感染拡大状況により、日程調整がつかず、 個人・グループ懇を行った。
親子観劇会	コロナウイルス感染予防のため、実施できなかった。

<保護者アンケート>

回収率 52,0%

(1)施設の利用には、満足していますか？

- ① とても良い 54.9% ② 良い 39.2% ③ 普通 5.9%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(2)施設や設備は、良好に管理されていると思いますか？

- ① とても良い 51.0% ② 良い 41.2% ③ 普通 7.8%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(3)保育園の行事について、どう思いますか？

- ① とても良い 37.3% ② 良い 39.2% ③ 普通 23.5%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(4)保育園の食事(おやつ)について、どう思いますか？

- ① とても良い 49.0% ② 良い 35.3% ③ 普通 15.7%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(5)職員(保育士)などの対応は良好ですか？

- ① とても良い 62.8% ② 良い 29.4% ③ 普通 5.9%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 1.9%

(6)保育サービス全体の評価はいかがですか？

① とても良い 51.0% ② 良い 41.2% ③ 普通 5.9%

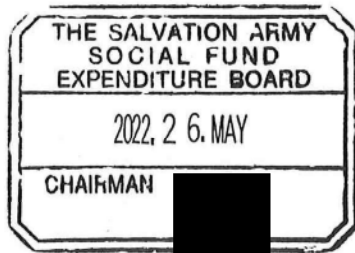
④ あまり良くない 1.9% ⑤ 良くない0.0%

17. 施設間と地域との交流実績

新型コロナウイルス感染予防のため、中止。

札幌市しせいかん保育園

令和 3 年度決算報告書



法人名
法人代表者
施設名
施設代表者



社会福祉法人 救世軍社会事業団
理事長 石川 一由紀
札幌市しせいかん保育園 [Redacted]
施設長 安達津 恵子 [Redacted]



第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

拠点区分資金収支計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業収入	保育事業収入	143,202,000	145,295,971	△2,093,971	
	委託費収入	125,228,000	124,736,350	491,650	
	その他の事業収入	17,974,000	20,559,621	△2,585,621	
	補助金事業収入	15,564,000	18,234,621	△2,670,621	加配保育士分が当初より増加
	その他の事業収入	2,410,000	2,325,000	85,000	
	経常経費寄附金収入	160,000	159,816	184	
	経常経費寄附金収入	160,000	159,816	184	
	受取利息配当金収入	0	377	△377	
	受取利息配当金収入	0	377	△377	
	その他の収入	1,398,000	1,324,010	73,990	
	受入研修費収入	30,000	30,000	0	
	利用者等外給食収入	1,204,000	1,129,440	74,560	
	雑収入	164,000	164,570	△570	
	事業活動収入計(1)	144,760,000	146,780,174	△2,020,174	
	活動による支出	人件費支出	115,102,000	114,912,120	189,880
職員給料支出		55,875,000	55,380,624	494,376	
職員俸給支出		44,100,000	43,920,182	179,818	
職員諸手当支出		11,775,000	11,460,442	314,558	
職員賞与支出		22,596,000	22,596,050	△50	
非常勤職員給与支出		20,270,000	19,866,639	403,361	
退職給付支出		2,611,000	2,611,265	△265	
法定福利費支出		13,750,000	14,457,542	△707,542	
事業費支出		18,449,000	17,540,850	908,150	
給食費支出		7,000,000	6,733,175	266,825	
保健衛生費支出		790,000	774,606	15,394	
保育材料費支出		1,280,000	965,595	314,405	
水道光熱費支出		3,614,000	3,574,587	39,413	
燃料費支出		2,862,000	2,862,000	0	
消耗器具備品費支出		1,650,000	1,476,539	173,461	
保険料支出		260,000	229,560	30,440	
賃借料支出		963,000	908,698	54,302	
雑支出		30,000	16,090	13,910	
事務費支出		5,666,000	5,827,948	△161,948	
福利厚生費支出		527,000	559,623	△32,623	
職員被服費支出		0	340,000	△340,000	
旅費交通費支出		50,000	51,170	△1,170	
研修研究費支出		71,000	46,098	24,902	
事務消耗品費支出		300,000	228,234	71,766	
印刷製本費支出		570,000	463,499	106,501	
修繕費支出		800,000	763,457	36,543	
通信運搬費支出		450,000	499,108	△49,108	
会議費支出		12,000	10,660	1,340	
業務委託費支出		1,547,000	1,560,470	△13,470	
手数料支出		706,000	717,494	△11,494	
土地・建物賃借料支出		168,000	167,824	176	
租税公課支出		200,000	191,060	8,940	
保守料支出	65,000	65,251	△251		
雑支出	200,000	164,000	36,000		
その他の支出	1,204,000	1,129,440	74,560		
利用者等外給食費支出	1,204,000	1,129,440	74,560		
事業活動支出計(2)	140,421,000	139,410,358	1,010,642		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		4,339,000	7,369,816	△3,030,816	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	0	117,811	△117,811	
	施設整備等補助金収入	0	117,811	△117,811	
	施設整備等収入計(4)	0	117,811	△117,811	
	支出				
固定資産取得支出	124,000	124,012	△12		
器具及び備品取得支出	124,000	124,012	△12		
施設整備等支出計(5)	124,000	124,012	△12		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△124,000	△6,201	△117,799	
その他の活動	収入				
	その他の活動による収入	1,376,000	1,378,695	△2,695	
	退職給付引当資産取崩収入	1,376,000	1,378,695	△2,695	
	その他の活動による収入計(7)	1,376,000	1,378,695	△2,695	
	支出				
積立資産支出	3,000,000	3,000,000	0		
保育所施設・設備整備積立資産支出	3,000,000	3,000,000	0		
拠点区分間繰入金支出	209,000	209,000	0		

第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

拠点区分資金収支計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
動 に よ る 収 支	拠点区分間繰入金支出	209,000	209,000	0	
	本部へ繰入金支出	209,000	209,000	0	
	その他の活動による支出	2,307,000	2,304,095	2,905	
	退職給付引当資産支出	2,289,000	2,286,095	2,905	
	過年度修正額支出	18,000	18,000	0	
	その他の活動支出計(8)	5,516,000	5,513,095	2,905	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△4,140,000	△4,134,400	△5,600	
予備費支出(10)	0	—			
	0				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		75,000	3,229,215	△3,154,215	
前期末支払資金残高(12)		21,344,000	21,344,173	△173	
当期末支払資金残高(11)+(12)		21,419,000	24,573,388	△3,154,388	

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収 益	保育事業収益	145,295,971	135,554,534	9,741,437
	委託費収益	124,736,350	118,341,690	6,394,660
	その他の事業収益	20,559,621	17,212,844	3,346,777
	補助金事業収益	18,234,621	15,226,594	3,008,027
	その他の事業収益	2,325,000	1,986,250	338,750
	経常経費寄附金収益	159,816	247,252	△87,436
	経常経費寄附金収益	159,816	247,252	△87,436
	寄附金収益	159,816	247,252	△87,436
	その他の収益	164,570	0	164,570
	その他の収益	164,570	0	164,570
	サービス活動収益計(1)	145,620,357	135,801,786	9,818,571
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	人件費	116,674,520	114,047,233	2,627,287
	職員給料	55,380,624	49,251,108	6,129,516
	職員俸給	43,920,182	38,437,564	5,482,618
	職員諸手当	11,460,442	10,813,544	646,898
	職員賞与	17,396,050	14,695,041	2,701,009
	賞与引当金繰入	6,055,000	5,200,000	855,000
	非常勤職員給与	19,866,639	26,795,201	△6,928,562
	退職給付費用	3,518,665	3,426,185	92,480
	法定福利費	14,457,542	14,679,698	△222,156
	事業費	17,540,850	17,269,918	270,932
	給食費	6,733,175	6,414,601	318,574
	保健衛生費	774,606	637,181	137,425
	保育材料費	965,595	1,148,830	△183,235
	水道光熱費	3,574,587	3,566,076	8,511
	燃料費	2,862,000	2,862,000	0
	消耗器具備品費	1,476,539	1,620,407	△143,868
	保険料	229,560	250,125	△20,565
	賃借料	908,698	747,108	161,590
	雑費	16,090	23,590	△7,500
	事務費	5,827,948	4,208,429	1,619,519
	福利厚生費	559,623	398,993	160,630
	職員被服費	340,000	0	340,000
	旅費交通費	51,170	33,800	17,370
	研修研究費	46,098	44,458	1,640
	事務消耗品費	228,234	169,773	58,461
	印刷製本費	463,499	382,575	80,924
	修繕費	763,457	437,866	325,591
	通信運搬費	499,108	440,183	58,925
	会議費	10,660	11,598	△938
	業務委託費	1,560,470	1,446,720	113,750
	手数料	717,494	434,052	283,442
	土地・建物賃借料	167,824	167,824	0
	租税公課	191,060	3,916	187,144
保守料	65,251	74,471	△9,220	
雑費	164,000	162,200	1,800	
減価償却費	798,892	864,135	△65,243	
減価償却費	798,892	864,135	△65,243	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△12,271	0	△12,271	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△12,271	0	△12,271	
サービス活動費用計(2)	140,829,939	136,389,715	4,440,224	

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)		
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,790,418	△587,929	5,378,347		
サービス活動外増減の部	収	受取利息配当金収益	377	826	△449	
		受取利息配当金収益	377	826	△449	
		その他のサービス活動外収益	1,159,440	1,213,670	△54,230	
		受入研修費収益	30,000	20,000	10,000	
		利用者等外給食収益	1,129,440	1,169,920	△40,480	
	益	雑収益	0	23,750	△23,750	
		サービス活動外収益計(4)	1,159,817	1,214,496	△54,679	
		費用	その他のサービス活動外費用	1,129,440	1,169,920	△40,480
			利用者等外給食費	1,129,440	1,169,920	△40,480
			サービス活動外費用計(5)	1,129,440	1,169,920	△40,480
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	30,377	44,576	△14,199			
経常増減差額(7)=(3)+(6)		4,820,795	△543,353	5,364,148		
特別増減の部	収	施設整備等補助金収益	117,811	0	117,811	
		施設整備等補助金収益	117,811	0	117,811	
		その他の特別収益	0	1,014,458	△1,014,458	
		過年度修正額(収益)	0	1,014,458	△1,014,458	
		特別収益計(8)	117,811	1,014,458	△896,647	
	費用	国庫補助金等特別積立金積立額	117,811	0	117,811	
		国庫補助金等特別積立金積立額	117,811	0	117,811	
		拠点区分間繰入金費用	209,000	209,000	0	
		拠点区分間繰入金費用	209,000	209,000	0	
		本部へ繰入金費用	209,000	209,000	0	
その他の特別損失	18,000	6,000	12,000			
過年度修正額(損失)	18,000	6,000	12,000			
特別費用計(9)	344,811	215,000	129,811			
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△227,000	799,458	△1,026,458			
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		4,593,795	256,105	4,337,690		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	20,221,761	19,965,656	256,105		
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	24,815,556	20,221,761	4,593,795		
	基本金取崩額(14)	0	0	0		
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0		
	その他の積立金積立額(16)	3,000,000	0	3,000,000		
	保育所施設・設備整備積立金積立額	3,000,000	0	3,000,000		
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	21,815,556	20,221,761	1,593,795		

第三号第四様式 (第二十七条第四項関係)

拠点区分貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	31,498,822	26,612,742	4,886,080	12,980,434	10,468,569	2,511,865
現金預金	25,953,668	23,628,027	2,325,641	1,779,097	1,335,322	443,775
現 金	13,994	33,729	△19,735	2,321,868	2,324,666	△2,788
しせいかん保育園小口	13,994	33,729	△19,735	1,454,056	1,514,172	△60,116
普通預金	25,939,674	23,594,298	2,345,376	867,812	810,484	57,328
	102,147	102,320	△173	2,769,380	1,608,591	1,160,789
事業未収金	5,066,880	2,755,890	2,310,990	55,089	0	55,089
利用者未収金	121,288	72,540	48,748	55,089	0	55,089
その他の事業未収金	4,945,592	2,683,350	2,262,242	6,055,000	5,200,000	855,000
未収金	84,050	33,280	50,770	18,260,715	17,481,480	779,235
職員等給食費実徴収金	26,720	33,280	△6,560	18,260,715	17,481,480	779,235
その他	57,330	0	57,330	31,241,149	27,950,049	3,291,100
貯蔵品	172,224	177,185	△4,961	105,540	0	105,540
前払金	0	18,360	△18,360	105,540	0	105,540
前払費用	222,000	0	222,000	22,500,000	19,500,000	3,000,000
固定資産	44,163,423	41,059,068	3,104,355	10,000,000	10,000,000	0
建物	44,163,423	41,059,068	3,104,355	12,500,000	9,500,000	3,000,000
建物減価償却累計額 △	6,486,360	6,486,360	0	21,815,556	20,221,761	1,593,795
構築物	5,838,854	5,727,854	111,000	21,815,556	20,221,761	1,593,795
構築物減価償却累計額 △	3,947,400	3,947,400	0	4,593,795	256,105	4,337,690
構築物減価償却累計額 △	1,611,855	1,217,115	394,740			
車輻運搬具	544,080	544,080	0			
車輻運搬具減価償却累計額 △	544,076	544,076	0			
器具及び備品	3,008,704	2,884,692	124,012			
器具及び備品減価償却累計額 △	2,589,051	2,295,899	293,152			
保育所繰越積立資産	10,000,000	10,000,000	0			
保育所人件費積立資産	10,000,000	10,000,000	0			
保育所施設・設備整備積立資産	12,500,000	9,500,000	3,000,000			
退職給付引当資産	18,260,715	17,481,480	779,235			
資産の部合計	75,662,245	67,671,810	7,990,435	44,421,096	39,721,761	4,699,335
負債及び純資産の部合計				75,662,245	67,671,810	7,990,435